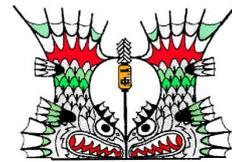




一中われら

第7号
8月26日発行
文責 校長



【校是】 **覇 気** 【学校教育目標】 未来を主体的に切り拓いていくことのできる、
覇気ある生徒の育成

一中若、新たな歴史を刻む

8月2日（火）、一中若
が天空の不夜城に初参加、
能代の夏を盛り上げまし

た。おなごりフェスティバルの終了に伴い、翌年から天空の不夜城に参加する予定でしたが、コロナのため2年続けて中止。それを受け、令和2年度はグラウンドで開催、令和3年度は学区内で単独運行し、一中若の伝統を守ってきました。

当日の出陣にあたり、音頭上げリーダーの鈴木優太郎さんは「一中生全員で大きな声を出して盛り上げたい」、市長の佐藤璃子さんは「観客の皆さんに一中若のすごさと天空の不夜城のすごさを伝えたい」と意気込みを示しました。初参加ということで、どのような運行になるかイメージできない部分もありましたが、生徒は覇気ある姿を存分に大勢の観客の前で披露してくれました。

昨年度に続き西小6年生も田楽で加勢、一中若を盛り上げてくれました。来年は一中生となる仲間なので、一緒に参加して雰囲気味わえたことはとてもよかったです。

午後6時30分にイオン前で音頭上げを行った後、いづく通町店手前の交差点まで進んで折り返し、けやき公園付近まで戻る行程を2周しました。生徒は、初め、少し緊張気味でしたが、時間の経過とともにボルテージが上昇。イオン前では太鼓の回転打ちも披露し、観客の皆さんから大きな拍手をいただきました。

運行の最後は、市庁舎前での「流し」。佐藤璃子さんの「力を全て発揮できましたか」という呼びかけに、全員が「はい」と大きな声で返答。やり遂げた充実感に満たされて

いました。一中若の新たな歴史を創った一中生を私は誇りに思います。

安全な運行のためご協力いただいたPTAの皆さん、どうもありがとうございました。



力強い太鼓



曳き手の「わっしょい」



イオン前での笛



音頭上げでスタート